

◎学童疎開の歌
◎かぞえ歌

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

八 馬毛島沖合かかる時にわかに船は止まりけり

波はしだいに荒れてくる 波せき立ちて流れゆく

九 機械修理に務めつつ 救いを遠く求むれど

浪はしだいに高まりて 救いの船はまだ見えず

十 四日三晩のその間 食うや食わずの船員は

今は疲れて動きえず 船はしだいに流れゆく

十一 篠^{すし}つく雨のその陰で 神様どうぞ助けてと

祈る姿のいじらしや 船が動揺するたびに

十二 リュックサックも母様に みやげの品も流れゆく

ああ運命もこれまでと 心を決めるはかなさよ

十三 その時保護婦の情けにて 晴着に着替えし子どもらが

父ちゃん母ちゃんさようなら 最後が近づくと一時間

十四 神の助けか吹く風が 白沢浜へと吹きよせぬ

死する命の学童が 情けに生きる百余名

「上西だより」90号の題名『初あげ』は『初穂あげ』の誤りでした。訂正いたします。

かぞえ歌

長野シズ子さん(安城) 歌

一つとせ 人も知らない菱刈に 母さん 離れて行きました

二つとせ ふた親別れて安城花 これから 遠い旅の空

三つとせ みんなと別れて海原を 越えて来たのは鹿児島市

四つとせ 夜も間近い夕方に 菱刈 学校に着きました

五つとせ いやいやながらに家々に 泣き泣き ついてく妹よ

六つとせ 無理に別れた母さんは 今頃 何しているかしら

七つとせ なんとうれしいことでしょう 母さん所に帰るのよ

八つとせ 安かに機械は止まりつつ 波風 たてて流れゆく

九つとせ ニコで死んだら今頃は 母さん 寂しく泣くだろな

十とせ とうとう島が見えてきた その時 嬉しさ今忘れむ(ん)

※機械II種子島に帰る船のエンジンのこと